

2020年度ルールの改正・競技者必携の修正について

さいたま市ソフトボール協会
審判委員長 岡田 貢

2020年度のオフィシャルソフトボールルールおよび競技者必携の主な改正点は、以下の通りとなります。各チーム内において、周知して頂きますよう、お願い申し上げます。

<ルールの改正点>

1. マスク・捕手用ヘルメット(ルール 3-5 項 P37)

捕手は、スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメットを着用しなければならない。

(注1)捕手用ヘルメットは、JSA 検定マークが入っているものを着用しなければならない。

(注2)捕手用マスクは、SG マークが入っているものを着用しなければならない。

(※SG マークとは、一般財団法人製品安全協会の定める基準に適合したものを指す)

【改正の理由・主旨】

すでに2020年からの着用義務づけを予告済みであることから、その予告通り本年度からJSA 検定マーク入り捕手用ヘルメット、SG マーク入り捕手用ヘルメットの着用を義務づける。

2. ユニフォーム(ルール 3-7 項 P40~P41)

4. アンダーシャツ(項目を追加)

(1) プレイヤーのアンダーシャツは同色でなければならない。すべてのプレイヤーがアンダーシャツを着用することは必須ではないが、一人でもアンダーシャツを着用する場合は、他のプレイヤーは同色のものを着用しなければならない。

また、どのプレイヤーも、露出したアンダーシャツの袖がほつれ、擦り切れたり、スリットが入ったものを着用してはならない。

(2) アームスリーブ(腕の保護ガード)を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。

(注)片腕のみの着用は禁止する。

<追記> 柄物や多色のものは禁止、但し、メーカーのロゴは入っていても使用できる>

【改正の理由・主旨】

WBSC ではすでに「アームスリーブ」の使用が認められているため、JSA ルールでもその使用を認めるが、使用のための「一定のルールづくり」が必要と考え、上記(2)の内容を明記する形でルール改正を行った。

3. タイブレーク(ルール 5-6 項 P55)

【改正の理由・主旨】

「タイブレーカー」の名称を、他の競技で使用している「タイブレーク」に改める。

4. 次打者(ルール 7-1 項 P69)

2. 次打者は次打者席内で待機しなければならない。なお、安全面を考慮し、打席にいる打者が右打者の場合は三塁側、左打者の場合は、一塁側の次打者席で待機しなければならない。

<追記> 打席内の打者の背中側の次打者席に入る。ペナルティーはないが、審判員の指示に従うこと。

【改正の理由・主旨】

WBSC のルールでは「一塁側・三塁側どちらの次打者席で待機してもよい」となっているが、実際の大会での運用は、上記の通り安全面を考慮し指導されているため、JSA ルールとして採用した。

<競技者必携の修正点>

1. ロジン

(5. 審判委員会申し合わせ事項 4. 用具について(6) P36)

審判員の確認したロジンでなければならない。

(全国大会では、大会本部で準備する。ただし、チームが持参したものであっても、事前に審判員の確認をうけたものであれば使用することができる)

【修正理由】

布に滑り止めを染み込ませた形の「ロジン」(例;ゴリラ)の使用が、国際大会ではすでに使用が認められているため、JSA ルールでも、「事前に審判員の確認を受けた」ロジンであれば使用できる、ルール改正を行った。

<追記>タオル状のものであるため、投手が使用する場合は、ポケットからはみ出してもよい。バックではない形状もあることから、従来の「ロジンバック」の用語を「ロジン」とした。

2. テンポラリーランナー

(5. 審判委員会申し合わせ事項 5. プレイヤーと交代について(5) P38~P39)

(5) テンポラリーランナー

捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりにテンポラリーランナーを使用することができる。

--以下、追加--

(注 1) テンポラリーランナーが出血した場合、代替プレイヤーを使用することはできない。

(注 2) テンポラリーランナーを使用した場合、テンポラリーランナーが負傷しても、再び捕手を走者にもどすことはできない。

(注 3) (注 1)(注 2)のような場合、テンポラリーランナーを交代させるには、正しい控え選手と交代させなければならない。

【修正理由】

(注 1)~(注 3)を追記し、出血時の代替プレイヤーの使用の可否や制約、負傷時の交代・再出場の可否や制約について明記した。

<追記> 上記の場合、正しい控え選手がいない場合は没収試合となるため、テンポラリーランナーの使用時には留意が必要である。

また、攻撃時には守備位置の変更は通告できないことから、下記の例のような場合にはテンポラリーランナーは使用できない。

(例) ① 捕手に代わって、代打 A がヒットを打って出塁

② この代打 A にテンポラリーランナーは使用できない。

(理由)代打 A は、攻撃中は守備位置が決まっていない。

捕手が出塁した後に、代走を使った場合もどうようである。

以上